学校番号	T0207

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	高校数学Ⅰ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・授業中に行う練習プリントは、ファイル・教科書等を参考にして学習内容の確認のためのものです。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・所定の用紙に黒板に書かれた内容等を書きファイルに綴じてください。
また、後で練習プリントでの学習のときなど、見直しのときにわかるようにていねいに書くようにしてください。

２　学習の到達目標

・数と式、二次関数、図形と計量、データの分析について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付ける。
・数や式を多面的にみたり事象を的確に表現し、関数の特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、判断したりする力を養う。
・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、改善したりしようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数と式、二次関数について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・数や式を多面的にみたり事象を的確に表現し、関数の特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数と式	正の数・負の数 文字式 関数 単項式・多項式の計算	a:数の性質を知り、文字式や関数を計算することができる。 b: 式を多面的に捉えて目的に応じて適当に変形したりすることができる。 c: 粘り強く考え、数学的に考察を深めながら学習に取り組んでいる。	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物
		乗法公式 因数分解 方程式・不等式 平方根 実数	a:乗法公式を用いて、式を適切に展開することができる。 b: 式を多面的に捉えて目的に応じて適当に変形したりすることができる。 c: 粘り強く考え、数学的に考察を深めながら学習に取り組んでいる	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物
	二次関数	一次関数のグラフ 二次関数のグラフ 二次関数の最大値最小値	a:関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、最大値や最小値を求めることができる。 b:二つの数量の関係を数学的に捉え、他の事象との関係を考察できる。 c: 粘り強く考え、数学的に考察を深めながら学習に取り組んでいる	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物
後期	図形と計量	鋭角の三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張	a: 三角比の意味と相互関係について理解している。 b: 図形の構成要素間の関係について、三角比を用いて表現できる。 c: 粘り強く考え、数学的に考察を深め、判断している。	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物
	データの分析	データの散らばり 分散、標準偏差 データの相関 散布図,相関係数	a: 分散、標準偏差、散布図、相関係数について理解している。 b: データを表やグラフで表現できる。また、グラフが示しているデータの特徴を読み取れる。 c: 粘り強く考え、数学的に考察を深めながら学習に取り組んでいる。	考査	考査 レポート	振り返りシート 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度